



日刊日曜新聞 日刊日曜新聞 日刊日曜新聞

常談 常談 常談 常談 常談

非常時下の初賣り

各商店意外な活況

昨日(修正日)の平市の初賣りは、向うの天候に恵まれて、人出多く夜半から押かけた雑沓は、午前十時頃より午後三時頃迄押し返らぬ賑はひで、各商店は豫想以上の買上げにホク／＼してゐる。本年は非常時下の初賣りと異なり、服装身具類の如き一般の緊張から商店側では昨年程に行きまいと考へたものが意外な活況であつたが、石城地方は軍需インフレーションに陥ひが、年末に於ける銀行の金の動きの如き前年と較べて約二割増を呈したことを裏切らず各人に経済的の弾力あるを露られて、今日の總賣上げは少なくとも二十萬圓を超えるらしく、人出の盛況は左記の乗降客だけでも昨年舊止に比して三千二百四十七人多く、驛の雑沓も平常の二倍半であつた。

濱木炭議員の満期改選

十二名に新顔八名 濱木炭同業組合に於ける

片倉工女の購入額 七千圓の仕拂に自由外出

平市の片倉製糸工場では糸類達が自給的の錠後精進の赤誠から舊正月の歸郷願止を今井工場長に申出で、工場長は非常な感激で之れを受け容れたが、健康な一般業手の爲め、舊正月十日夜七千圓の仕拂を行ひ、郷里へ送る土産物や舊正月の買初めに全従業員に自由外出をさせたところ、工場へ歸らぬものが一名もなく、此の心掛に工場長その他を感服させてゐる。

川上部落常會

石城郡磐前町の藤原川上部落常會は今日午後一時同部落に開郡郡議會から授手出張

し、確實に當選するものと豫想されたものに落選を出だしたなど相當の混戦であつたものと語られてゐる。

- ▲五八點 齋藤信雄(永戸新)
- ▲四七點 津佐々木(川前再)
- ▲四六點 藤次男(澤波新)
- ▲三八點 木泰三(勿水新)
- ▲三六點 所野(貞治新)
- ▲三三點 國連(川部新)
- ▲三二點 永山忠(三川新)
- ▲三〇點 崎保房(三坂新)
- ▲二八點 郡司吉男(平再)
- ▲二八點 野重松(上小川前)
- ▲二八點 勝丸(上小川前)
- ▲二七點 河原吹傳一(山田新)
- ▲二五點 野重米爾(二)
- ▲二四點 野重吉(二)
- ▲二二點 伊藤長三(一)
- ▲二一點 山崎三(以上)

區長會

平市では明日(三日)午後一時から市會議事堂に行政區長會を開き、國民精神總動員第二回強調週に關する市町村長會の協議事項を青沼市長から述べられる筈だが、其の他の事項は左の如くである。

火防警備 學齡兒童 臨時財政補助金による税の軽減 納税思想演説 寄附者應召

兵報告 諸報告期日履行 應召者及び現役兵歸郷者 市街地建築物法適用 建築物届出等に關する諸件

片倉防護團で團服調製

昨日(修正日)の平市の片倉製糸工場では防空演習に處し防護團を組織され、その爲め来る下旬に施行される防護團に備へて、團服の色揃への團服を調製し、從來より力強い体制を整へ、昨日(修正日)の演習をなした。陣容左記の如くである。

平營林署の立木 公賣來る十六日

平營林署では管内永戸村大字下井井字輕井澤地内山林の桐、栗、雜木の立木八十七立加被審査者以前加審査者との合加被審査者田中彌作の製烟部を以て、廿年來の懇意の仲で隠したとなつた栗七が小金を貯めてゐると聞え、米太郎が借りに行つたのを拒絶

戰地 天津及び北京風景の便 威張り歩く英米人

(前文省略)何時も御無沙汰ばかり致しまして誠に申譯ありませぬ、皆々様には御壯健で何より結構です、小生も御健康で元氣で軍務に眼して居ります、今日(修正日)は戰争のことなく私の支那で

隠しの後釜野心で 盗みと殺人未遂

去三十一日夜高坂火葬場

去三十一日夜高坂火葬場、九時から管内に於て行はれる見積り價格に對する百分の一が入札は正午締め切り即時開札を要すると

所長の重態に 全山の祈願

石城郡湯本町の入山炭礦業所長吉田宗雄氏は病氣のため同礦附屬病院に入院加療中であるが、病勢は甚かに重なり、本日から渡邊専務、太田理事、山した信、同礦では所長の病氣平癒の爲め自治會の緊急幹部會を開き、病氣に人事を盡してゐるのであるから、神佛の加護による外なしと、昨日(修正日)午後三時湯本驛で代表者二名を

相馬木炭職員

下總成田山に向け九時半同山に水垢離をとつて祈願をこめ、残り幹部二百名は手を分けて、同礦附屬の神社佛閣に祈願を祈り、更に山元全職員は職員合宿所前に三千の全従業員は各區の廣場に集合所記代表者が成田山に水垢離をとる時刻を期して合歌熱唱を捧げ、祈願天に通じて、か朝朝から急態を好轉し、此分なら順調に推移せんかと見られ、後夜を重視されてゐる。

木炭と古鐵泥

石城郡内村の宮字金坂居住

古物商宮崎屋本義雄氏は、昨年十二月から本年一月末にかけて、同村の秋山木炭商小野寺彦四方木炭置場から、前後九回に木炭九俵、十二圓二七錢を窃取せし外、磐城炭礦構内から古鐵泥俵件を半斤に發覺檢査された。

雙葉木炭職員

雙葉郡の濱木炭支部では昨日(修正日)午前九時から午後四時まで、富岡町團體事務所にて、代議員の満期改選を行つたが、總投票三百五十三票で無効なく、左

亂暴な香具師 驛員を毆る

常磐線湯本驛で、常磐線湯本驛から去る三十日朝九時十分頃、大風呂敷を背負つて乗車せんとする香具師連十數が改札係員石橋公幸(三三)君に切符を見せないので所持の有無を質したところ、香具師が植田行の乗車券を持つてゐる生意氣を云ふなど、石橋君の顔を負はせて乗車したので、同驛から直ちに植田君に急報し、置員十數名が植田君を連下り、此の香具師連、東京市深川區深下町、生野行、植田君(三三)外九名と、植田君を連下り、重取調べ中である。

記十名(定員)當選を決定した

- ▲四四點 大木百彌(津島新)
- ▲四三點 正木木戸新(三八)
- ▲四二點 上岡(三五)
- ▲四一點 遠藤(三)
- ▲四〇點 三田(三)
- ▲三九點 三田(三)
- ▲三八點 三田(三)
- ▲三七點 三田(三)
- ▲三六點 三田(三)
- ▲三五點 三田(三)
- ▲三四點 三田(三)
- ▲三三點 三田(三)
- ▲三二點 三田(三)
- ▲三一點 三田(三)
- ▲三〇點 三田(三)
- ▲二九點 三田(三)
- ▲二八點 三田(三)
- ▲二七點 三田(三)
- ▲二六點 三田(三)
- ▲二五點 三田(三)
- ▲二四點 三田(三)
- ▲二三點 三田(三)
- ▲二二點 三田(三)
- ▲二一點 三田(三)
- ▲二〇點 三田(三)
- ▲一九點 三田(三)
- ▲一八點 三田(三)
- ▲一七點 三田(三)
- ▲一六點 三田(三)
- ▲一五點 三田(三)
- ▲一四點 三田(三)
- ▲一三點 三田(三)
- ▲一二點 三田(三)
- ▲一一點 三田(三)
- ▲一〇點 三田(三)
- ▲九點 三田(三)
- ▲八點 三田(三)
- ▲七點 三田(三)
- ▲六點 三田(三)
- ▲五點 三田(三)
- ▲四點 三田(三)
- ▲三點 三田(三)
- ▲二點 三田(三)
- ▲一點 三田(三)
- ▲〇點 三田(三)

温室経営

燃料高と
温室経営(一)
大規模に補助保温
十坪級には煉炭で

温室経営は荊の道だ、趣味でもつて之れを爲し採算を問題にしないものなら兎も角それ以外に有利でない大全体の折紙がつけられ殊に今年のやうな燃料高にぶつつかると一層算盤に合はず悩みは更に加重して来るのであるが其れでも尚ほ生きる道があるか前途はどうなるのかを東京農業大学の權威講師の説くところを掲げる、

補助保温の方法、冬の温室で主として栽培される種類を上ぐれば洋蘭、カーネーション、バラ、メロン、茄子、胡瓜、フ リーヂヤ、スキートビー、プリムラ、シクラメン、百合、チ ューリップ等種々あるが主として花卉類について云ふならば何よりも冬の温室に必要な石炭代に悩まされてゐるので補助的手段によつて室内を暖めることが肝要である、この爲めにはガラス屋根の上に炭酸をかける際、直接炭酸がガラスに觸れぬやうな注意せねばならぬ、少なくとも七、八寸ぐらゐの隙間を開けておきかじめガラス屋根の上に支柱を作らねばならない、斯うすれば炭酸とガラス屋根の間隙に空気がある爲め日中の温度が夜になつても直ぐ消失することがなく、かなり長く保温される、また簡単な温室ならば上に藁を被せるだけでも結構である、
保温と換氣と採光
石炭を焚いて暖めるとどう

「看護見習募集」
明雲堂眼科醫院(電話六六九)
平田町(三丁目裏川岸通)
入院應需(自炊の便あり)

幸福の父
健康の母たらんには
召し給へ!
機那サフラン酒は
子寶を得て易し。

機那サフラン酒
幸福の父
健康の母たらんには
召し給へ!
機那サフラン酒は
子寶を得て易し。

平市五丁目角 山野邊藥局

デリーサービス

品名	品目	品目	品目
カッレツ	チキ	チキ	チキ
ポーツ	コカツ	コカツ	コカツ
フライ	ハヤシ	ハヤシ	ハヤシ
コロッケ	ラム	ラム	ラム
ビーフ	ライス	ライス	ライス
キキ	ライス	ライス	ライス
カレー	ライス	ライス	ライス
その他	ライス	ライス	ライス

特にマルトモの
ランチは...

材料のおまかせを願つて居る爲め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出来ましますので御華客様からいつも御好評を蒙り居ります。

御来店御召上りの時御來客様用仕出し等統べて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節の調材料で美味快適なものをご調理進上出来ましますのでまた非常に御好評で御座います

RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ

銀あべ 牛鳥
申カツ汁
珍味御試食願上ります

チンヤ式食堂
静かなお座敷
平市三田小路・電一六七

和洋銅鐵、金物問屋

店商屋釜
九九・九電

産科、婦人科専門
根本醫院(平市南町)
病室入院随時
手術室完備
根本庄次郎
増築 根本貞雄

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

高久病院
院長 醫學士 高久忠

大川内
平市搔摺小路
整形科醫院
電話五八八番

皮膚科
泌尿器科
性病科

江尻醫院
醫學博士 江尻伊三郎
平市町 電話六九一番

帝國海上火災保險株式會社
代理店 關内正一
平町二丁目 電話一六番
事務取扱者 阿部助次郎

平病院(平市元共済病院跡)
院長 醫學博士 鈴木定藏
副院長 長 鈴木定藏
部長 長 佐藤幾費司
部長 長 高橋俊幸
部長 長 鈴木元雄
部長 長 吉本孝平
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事す(急患は此の限に於らず)